

体験活動参加型＋講演会型＋在宅取組型（小学校）

学校名等	揖斐川町立春日小学校
実施日時	平成29年10月24日
会場	春日小学校 体育館
参加人数	全校児童及び保護者 教職員
学習課題（分野）	災害時における安否確認手段体験会&公衆電話教室
運営者の願い	毎年、4月、PTA 総会で、「家族防災会議をひらこう」と働きかけ、非常災害時の避難場所等は確認している。 しかし、災害時における安否確認手段はどうしたらよいのかを解決するために、講師を招いて親子で体験することが望ましいと考えた。

学 習 の 内 容

<計画>

第2回家庭教育学級では、「災害時における安否確認手段体験会&公衆電話教室」を開催した。

春日地区は、大雨等で心配されるのが土砂災害にかかわってである。そこで、NTT 西日本岐阜支店、ドコモ CS 東海岐阜支店、日本公衆電話会から講師を招き「災害時の安否を確認する手段：災害伝言ダイヤル171、災害用伝言板、公衆電話からの緊急通話方法の体験」を親子で学習することにした。

<体験>

全校児童17名、保護者（長子）11名、教職員6名が、体育館で、1時間の体験を行った。

①災害伝言ダイヤル171



災害時に電話がつながりにくくなったときに約に立つことを知った。家族の安否や避難場所などの連絡に有効であることを知った。

②災害用伝言板



大きな災害が発生したとき、親が使っているスマホから登録された安否情報を聞くことで安心につながることを知った。

③公衆電話体験



災害時、救急車や警察へ通報したいとき、お金を入れなくても使用できることを知った。
地域にあるので使えることを知った。

<親子感想発表会>

児童が全員挙手で感想発表ができた。親子で一緒に学ぶことができ楽しかったという声が多かった。安否確認では親子で通話ができ安心できるという声もあった。

<保護者の感想より>

- 春日地区を通過している県道主要道に、公衆電話が設置されていることを知った。公衆電話で緊急通話ができることを大人でも知らなかった。親子で体験することで、常時使用しているスマホ以外の手段を学ぶことができ大変よかったです。
- 講師の先生方が大勢こられ、1時間十分に体験ができてよかったです。



災害時における「公衆電話」の存在と使用の方法が体験でき、実際に起きた場合に役立ちます。